



研究テーマ

1 宮崎地域の国際化の推進、多文化共生支援

2 高度外国人材導入、日本語支援、地域在住外国人の地域社会参加促進

3 日本語教育人材の養成、グローバル人材育成



伊藤 健一

いとう けんいち
国際連携センター

准教授

(兼任)

多言語多文化教育研究センター
日本語教育部門長
産学・地域連携センター

キーワード

留学生支援、留学生就業、留学生地域参加、高度外国人材、宮崎-バン格拉ディッシュ・モデル、B-JET、国際人材、国際化、地域国際化、多文化共生、日本語教育、日本語教育人材、420 単位時間日本語教員養成プログラム、日本語学習支援、地域日本語教室、国際協力、トビタテ！留学JAPAN

特許情報・
共同研究・
応用分野など

I. 競争的資金

平成 29 年度宮崎市地域貢献学術研究助成事業「高度外国人材就業のための日本語・キャリア教育と地域産業人材の国際化に関する研究」

II. 共同研究等

・外国人の日本語習得を支援する ICT による遠隔日本語教育教材の開発、
・バン格拉ディッシュ国 ICT 技術者対象向け日本語教育プログラム及び教材開発業務
・他、企業の助成金などへの連携等。

III. 応用分野

日本語教育支援、遠隔日本語教育、キャリア教育、外国人受入れ、高度外国人材就業/雇用、他

研究概要

急激な国際化が進む中、宮崎県は全国トップレベルの外国人増加率となっています。一方、地域における外国人住民の受入れや多文化共生は、他の地方に比べて遅れている現状にあります。これからの宮崎をより良いものとするため、社会変化に合わせた取り組みが必要です。そこで、大学機関ができる国際化を地域に活かす取り組み、地域が社会変化に対応していくための取り組みを推進しています。

1 宮崎地域の国際化の推進、多文化共生支援

地域の変化や現状への理解促進や、国際化する宮崎で活躍する人を増やすために「地域活性化多文化共生・日本語支援シンポジウム」を企画、開催しています。様々な立場で外国人受入れや支援、日本語教育などに関わられる方々にご登壇いただき、在住外国人生活者の現状や課題、企業等の外国人材受入れ、そして日本語教育・支援などについてご報告いただき、宮崎地域における外国人受入れ、多文化共生に向けて考える機会としています。

また、自治体の行う地域日本語教育体制整備への協力や、海外経験者がU・I・Jターンして地域を支える国際人材となることを期待して、コロナ禍で一時帰国となったJICA海外協力隊の待機隊員研修などで地域における課題と活躍の場を示したりしています。

2 高度外国人材導入、日本語支援、地域在住外国人の地域社会参加促進

2017年より宮崎市、地域企業、JICAなどの産官学連携による高度ICT人材導入事業「宮崎-バン格拉ディッシュ・モデル」を推進しています。地方における外国人受入れを先導するモデルを示すとともに、ここで培った知見を広く地域や産業の国際化、外国人受入れ、留学生就業支援などに活かしています。

3 日本語教育人材の養成、グローバル人材育成

宮崎では、日本語学習や外国人支援に必要な日本語教育人材が不足しています。そこで、2019年より宮崎大学では国立大学で唯一となる文化庁届出受理の日本語教員養成研修「宮崎大学420単位時間日本語教員養成プログラム」を履修証明プログラムとして開設しています。これまでに20～70歳、学生、企業経営者、自営業者、教員、自治体職員まで幅広い年齢層と背景の方が修了し、地域や海外でご活躍されています。

また、これからの国際化した社会で地域の若者が生き抜くための教育・体験の支援として、高校や中学などの国際教育やキャリア教育への講演や留学生の派遣、海外の学校との国際交流支援、海外学校からの受入れ交流支援なども行っています。

ホームページ

直接お問い合わせください。 itoken@cc.miyazaki-u.ac.jp

技術相談に応じられる関連分野

- ・ 企画支援： 国際化、多文化共生、日本語教育、外国人受入れ・支援に関するイベントの企画、立案、支援、実施。
- ・ 講演・研修： 国際化、日本語教育、外国人受入れ、宮崎-バン格拉ディッシュ・モデル等に関する講演、セミナー、研修。
- ・ 交流： 地域交流、学校等での国際教育における留学生等の派遣交流。海外協定校などとの受入れ・オンライン交流の支援。
- ・ その他、地域の国際化、多文化共生、日本語教育支援にかかる事項。

メッセージ

このICT化の時代に「スマホもPCも使えませんし使いません」とはなかなか難しいと思います。国際化、多文化、社会の多様化も同様と考えられます。国際化は世の流れであり、適者生存の法則を考えると、上手に適応していくことが必要となります。柔軟に捉えながら合理的に思考し、宮崎が人生を楽しむことができる地域で在り続けるよう、進取の気性をもって一緒に取り組みましょう。